

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	榎澤 祐一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

今後の大学での学修や実社会での活躍の基盤として、ビジネス上の事象をマーケティング的な枠組みに当てはめて分析し、改善案を提案できるようにすることが授業の目的です。考察の対象はサービス業・小売業です。考察した結果を他の履修者や教員に対して分かりやすく発表するスキルの装着も目的としています。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の多くは、教員から提示するテーマに対して考察を行い、次回授業時に発表する形式です。考察の方法は、小売業やサービス業に関する実務・学術でポピュラーな枠組み（フレームワークといいます）を使います。主に個人での発表であり、前期では5回程度を予定しています。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	情報の利活用①	大学の講義だけでなく、今後社会に出ても必要となる情報の利活用について、1年次の復習もかねて実習します。本や資料の選定	<input type="checkbox"/>
第2回	情報の利活用②	大学の講義だけでなく、今後社会に出ても必要となる情報の利活用について、1年次の復習もかねて実習します。ワーク	<input type="checkbox"/>
第3回	情報の利活用③	大学の講義だけでなく、今後社会に出ても必要となる情報の利活用について、1年次の復習もかねて実習します。発表	<input type="checkbox"/>
第4回	サービス改善プラン策定①	実際の企業について述べた文章を読み、考察します。ケース講義	<input type="checkbox"/>
第5回	サービス改善プラン策定②	実際の企業について述べた文章を読み、考察します。発表①	<input type="checkbox"/>
第6回	サービス改善プラン策定③	実際の企業について述べた文章を読み、考察します。発表②	<input type="checkbox"/>
第7回	リアルのサービス業・小売業の店舗経営分析①	実店舗型のサービス業・小売業の店舗経営におけるアルバイトや利用者としての経験を基に、分析します。前段の「サービス改善プラン策定」で得た知見を活用します。講義	<input type="checkbox"/>
第8回	リアルのサービス業・小売業の店舗経営分析②	実店舗型のサービス業・小売業の店舗経営を分析します。前段の「サービス改善プラン策定」で得た知見を活用します。発表①	<input type="checkbox"/>
第9回	リアルのサービス業・小売業の店舗経営分析③	実店舗型のサービス業・小売業の店舗経営を分析します。前段の「サービス改善プラン策定」で得た知見を活用します。発表②	<input type="checkbox"/>
第10回	ペルソナ分析①	サービスの設計や改善のために描く利用者像のことをペルソナと言います。このペルソナを使ってサービス利用者の心理を分析し、サービス改善の検討をします。講義	<input type="checkbox"/>
第11回	ペルソナ分析②	サービスの設計や改善のために描く利用者像のことをペルソナと言います。このペルソナを使ってサービス利用者の心理を分析し、サービス改善の検討をします。発表①	<input type="checkbox"/>
第12回	ペルソナ分析③	サービスの設計や改善のために描く利用者像のことをペルソナと言います。このペルソナを使ってサービス利用者の心理を分析し、サービス改善の検討をします。発表②	<input type="checkbox"/>
第13回	校外学習①	校外体験学習をします。必ずしもサービスと直結した内容ではないかもしれませんが、サービス業の幅広い知見に結び付けた観点で内省します。校外学習	<input type="checkbox"/>
第14回	校外学習②	校外体験学習をします。必ずしもサービスと直結した内容ではないかもしれませんが、サービス業の幅広い知見に結び付けた観点で内省します。講義	<input type="checkbox"/>

第15回	校外学習③	校外体験学習をします。必ずしもサービスと直結した内容ではないかもしれませんが、サービス業の幅広い知見に結び付けた観点で内省します。発表	□
------	-------	---	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

発表資料の作成とプレゼンテーションの練習（2時間程度）、発表後の資料の改善（2時間程度）です。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は発表資料の作成です。フィードバックは他の履修生や教員から発表時に行われます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	【知識・技能】 学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	【思考力・判断力・表現力】 基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	【主体性】 多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

発表資料の作成を授業内でも行う場合があります。グループワークの場合、授業で発表資料の各個人を対象として、リーダーシップや協調性、制作や発表の出来栄の観点から「個人」別に評価します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		